

株式会社 エックスネット

(証券コード:4762)

株式会社エックスネット
2018年3月期 決算説明会

XNET

Application Outsourcing

2018年5月

*Outsourcing
Expert* **XNET**

エックスネットのご紹介（会社概要・沿革）

- 当社は創業以来27年間「資産運用管理専門」のシステム提供と業務サポートを行う企業です。
- 生命保険会社、損害保険会社、投信会社、投資顧問会社、信託銀行、各種銀行などの機関投資家を中心に160社を超えるお客様にご利用頂いています。

会社概要

会社名	株式会社 エックスネット
住所	東京都新宿区荒木町13番地4 住友不動産 四谷ビル4階
代表者	代表取締役社長 茂谷 武彦
設立	1991年6月3日(平成3年)
資本金	7億8,320万円
従業員数	172名(2018年3月末現在)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">資産運用管理アプリケーションのアウトソーシング事業「XNETサービス」投資関連情報の配信サービス事業STPサービス事業（電子的な情報伝達を仲介するサービス）
主要顧客	銀行を含む広義の「機関投資家」

沿革

- 1991年 会社設立（野村證券・野村総研出身者3名で創業）
- 1997年 「バックオフィス」向けサービス開始
- 1998年 「フロントオフィス」向けサービス開始
- 2000年 「NASDAQ JAPAN」市場の第1号銘柄として上場
- 2000年 センター型「STP」サービス開始
- 2001年 バックオフィス向けサービスに「約定主義対応」を追加
- 2002年 有価証券業務の「アウトソーススキーム」を確立
- 2003年 「東京証券取引所」市場第2部に上場
- 2003年 「投信計理」サービス開始
- 2003年 議決権行使管理に対応(スチュワードシップ・ソリューション)
- 2004年 東京証券取引所市場「第1部」へ指定替え
- 2007年 投信計理サービスにバックオフィス対応を追加
- 2009年 NTTデータと資本業務提携、連結子会社となる
- 2015年 「個人向け信託管理サービス」(地方銀行向け)開始
- 2017年 日本初の「国内籍外貨建投信計理」サービス開始
- 2017年 SOサービス拠点として札幌にオフィス開設(10月)

スマート・アウトソーシングサービス(SOサービス)』業務 専門拠点

株式会社エックスネット（代表取締役社長 茂谷 武彦）は、かねてより準備を進めておりました「**札幌オフィス**」を開設、**2017年9月29日(金)**にオープンセレモニーを執り行いました。

札幌オフィスは、『**スマート・アウトソーシングサービス (SOサービス)**』業務を専門的に行うオフィスで、同拠点の開設により、

- 金融事務を執り行う優秀な現地人材の活用
- 重要性を増すSOサービスの業務継続態勢（BCP）の強化

を通じて、お客様に更なる高品質のサービスを安定的に提供することが可能になると確信しております。



個人向け信託管理サービス 国内実績No.1

三井住友銀行
「家族リレー信託」パンフレット

伊予銀行
「家族の絆信託」パンフレット

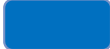


南都銀行
「家族円満」パンフレット

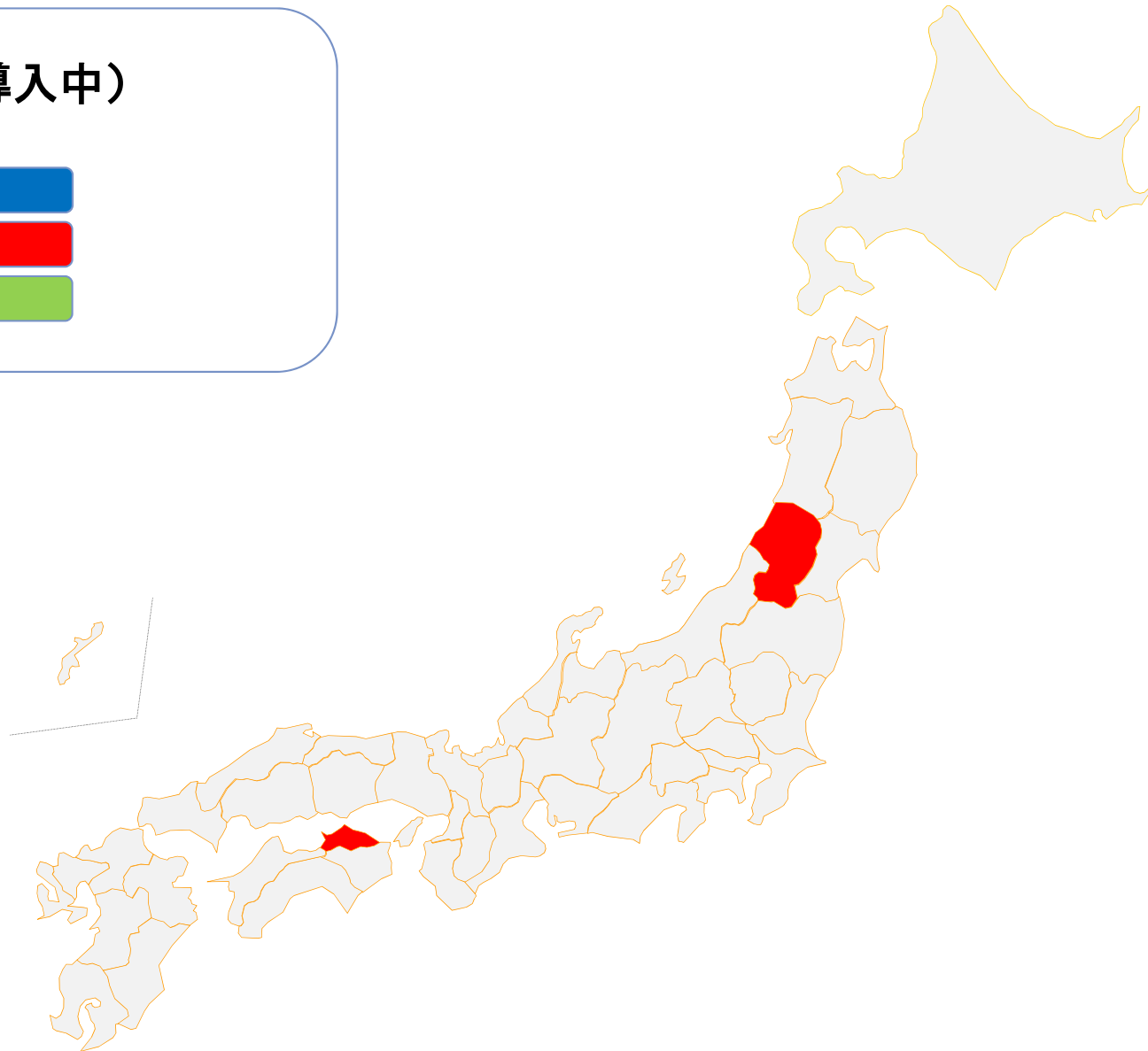
信金中央金庫
「こころのバトン」パンフレット

信金中央金庫
「こころのリボン」パンフレット

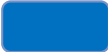


地方銀行への浸透 ・2009年頃(NTTDグループ前)

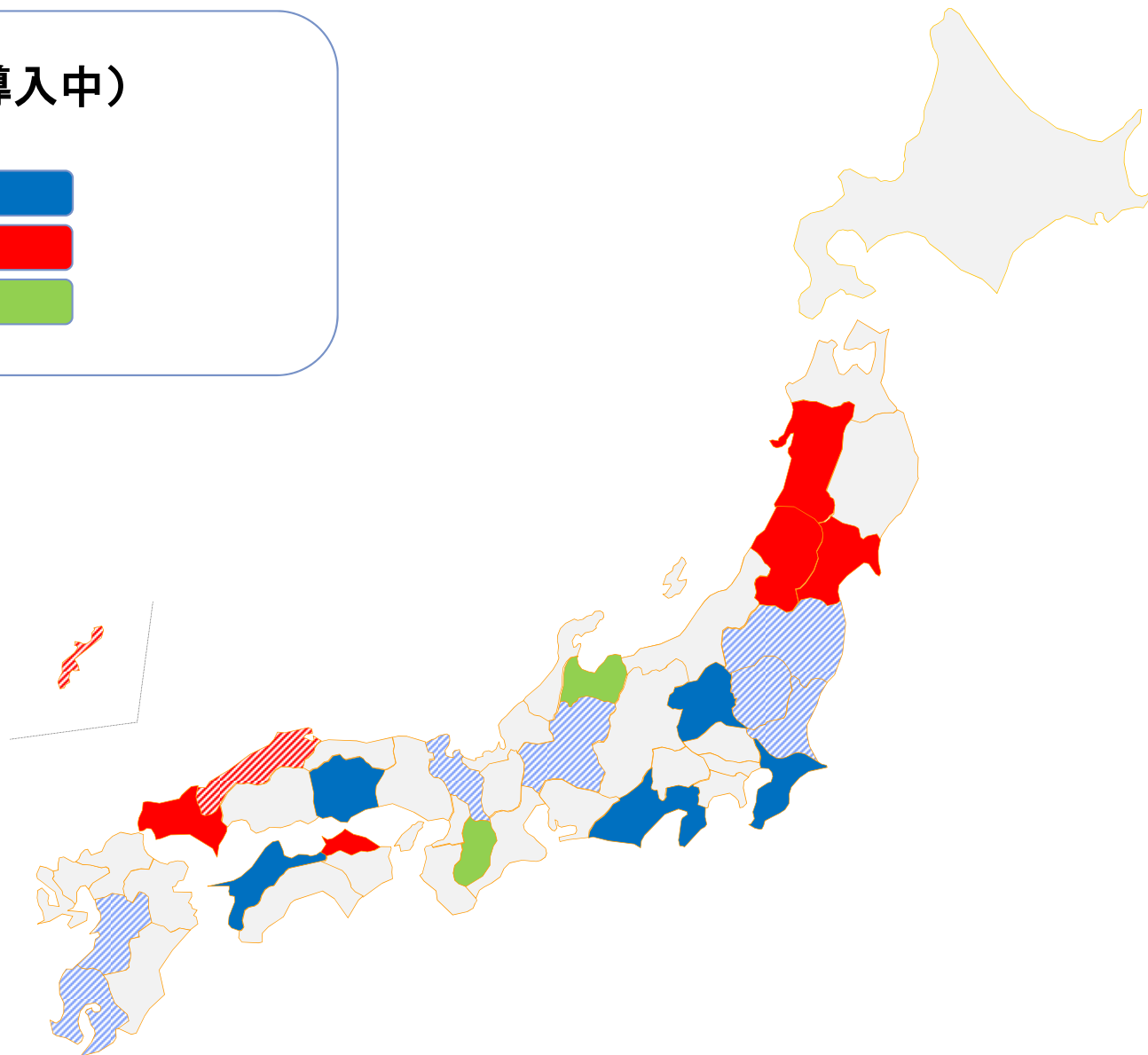
凡例(網掛けは導入中)

- 個人向け信託 
- 有価証券バック 
- 両サービス 

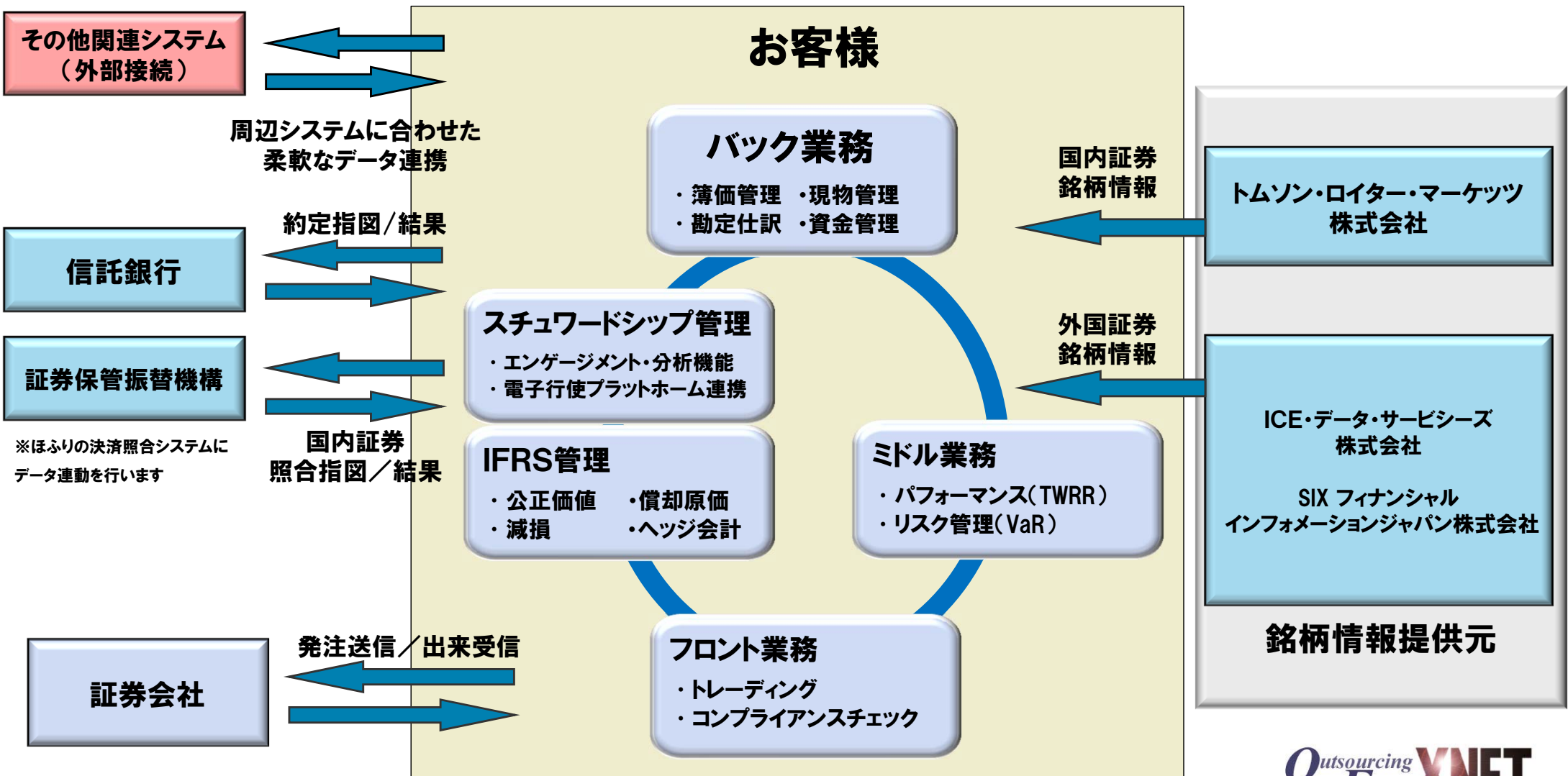


凡例(網掛けは導入中)

- 個人向け信託 
- 有価証券バック 
- 両サービス 



XNETサービスの全体像は下記の通りとなります。
銘柄情報提供を含め、フロント～バックまでの資産運用管理業務を包括的にサポートしております。



XNETサービス提供範囲の拡大

お客様のご要望と共に「サービス提供範囲の拡大」

アプリケーション・アウトソーシング・サービス(AOS)

アプリケーション・
プログラムの提供

ハード・OS・
ミドルウェアの提供

「アプリケーション+基
盤」の設計・運用・監視
お客様作業

業務サービスの提供

インフォメーション・テクノロジー・アウトソーシング(ITO)

アプリケーション・
プログラムの提供

ハード・OS・
ミドルウェアの提供

「アプリケーション+基
盤」の設計・運用・監視
お客様作業

業務サービスの提供

アプリケーション・マネジメント・アウトソーシング(AMO)
スマート・アウトソーシング・サービス(SOサービス)※

※ビジネス・プロセス・アウトソーシング
(BPO)サービスよりサービス名を変更

アプリケーション・
プログラムの提供

ハード・OS・
ミドルウェアの提供

「アプリケーション+基
盤」の設計・運用・監視

業務サービスの提供

XNETサービスの業態別導入実績

フロント、ミドル、バックを含めた資産運用管理システムのご利用実績は下表の通りです。(2018年3月現在)

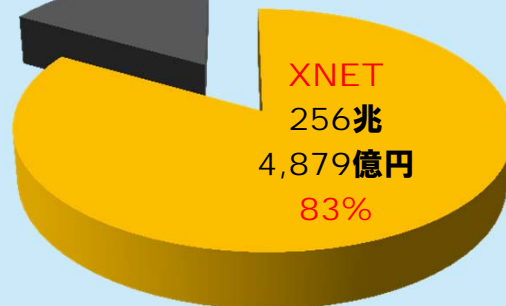
生命保険	損害保険	投信 投資顧問	銀行/ 信託銀行/ 信用金庫 等	証券会社他	その他金融/ 事業会社
22	12	46	39	32	8

Pick Up ↓

※OEM供給の「NISSAY-IT-XNET」実績含む

生命保険

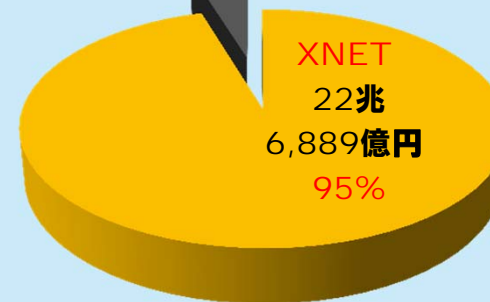
その他17%



【生保協会加盟全41社の有価証券運用総額(309兆7,145億円)に占めるXNET利用割合(2017/3月期決算)】

損害保険

その他 5%



【損保協会加盟全26社の有価証券運用総額(23兆7,791億円)に占めるXNET利用割合(2017/3月期決算)】

XNETの業績見通し

2018年3月期決算 前期との比較

3期連続の過去最高売上高更新も、償却負担重く減益

	2017年3月期	2018年3月期	対前期増減率
	百万円	百万円	%
売上高合計	4,041	4,204	+4.0
XNETサービス	4,027	4,179	+3.8
機器販売等	13	25	+88.6
売上総利益	1,145	1,108	△3.2
販売管理費	439	429	△2.2
営業利益	705	678	△3.8
経常利益	729	692	△5.1
当期純利益	522	465	△10.8
1株当たり当期純利益	63.21円	56.37円	
ROE	9.0%	7.7%	
営業利益率	17.5%	16.1%	

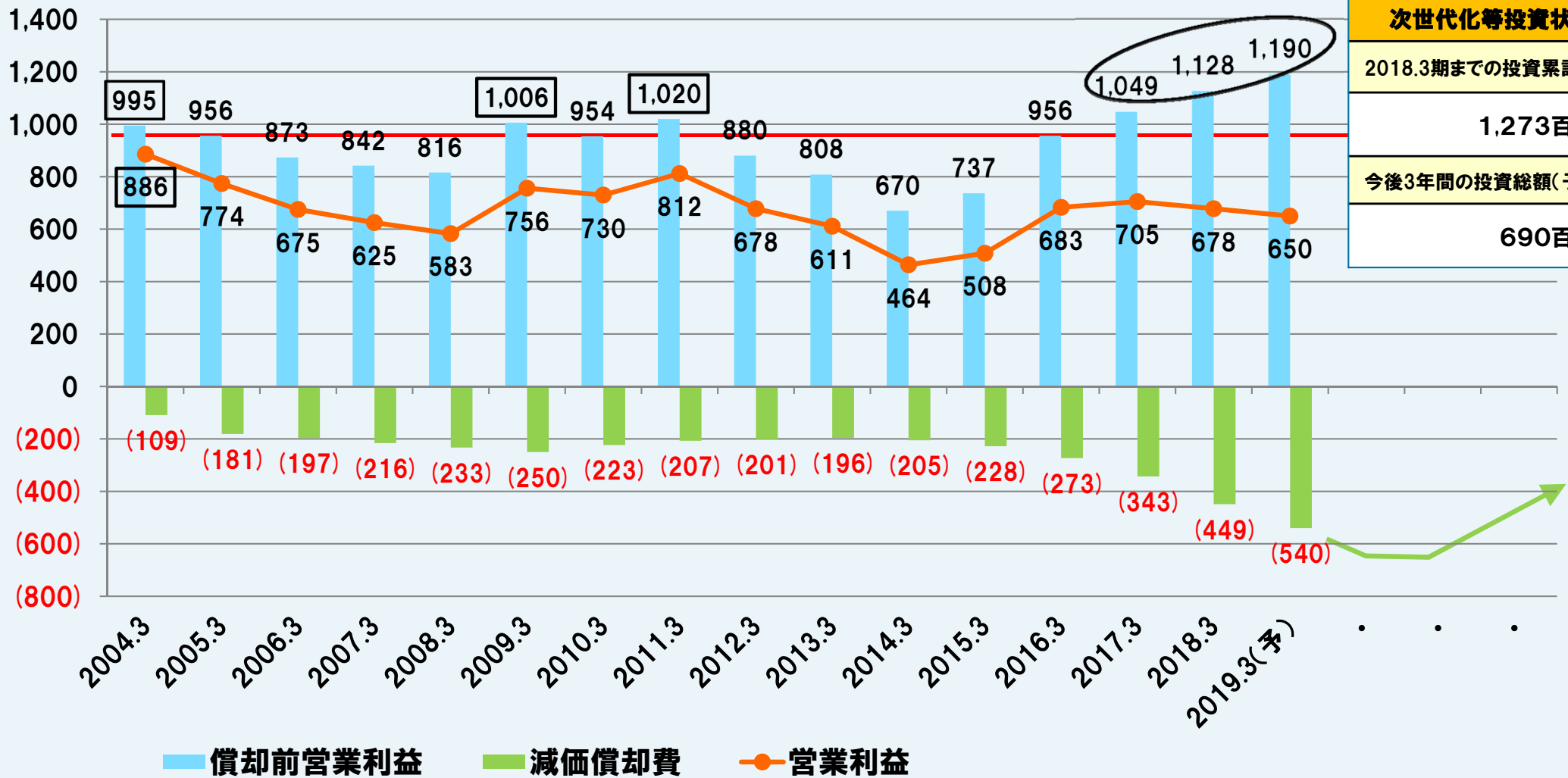
2018年3月期の予想・実績乖離と2019年3月期予想

- 2018年3月期は売上・利益とも予想を上回り、営業利益率は16.1%を確保
- 2019年3月期は償却負担がさらに重く、増収減益の継続を見込む

	2018年3月期 業績予想	2018年3月期 実績	2018年3月期 予実乖離	2019年3月期 業績予想
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	4,100	4,204	+104	4,300
営業利益	630	678	+48	650
経常利益	650	692	+42	670
当期純利益	440	465	+25	450
営業利益率	15.4%	16.1%		15.1%

償却前営業利益(EBITDA)の推移

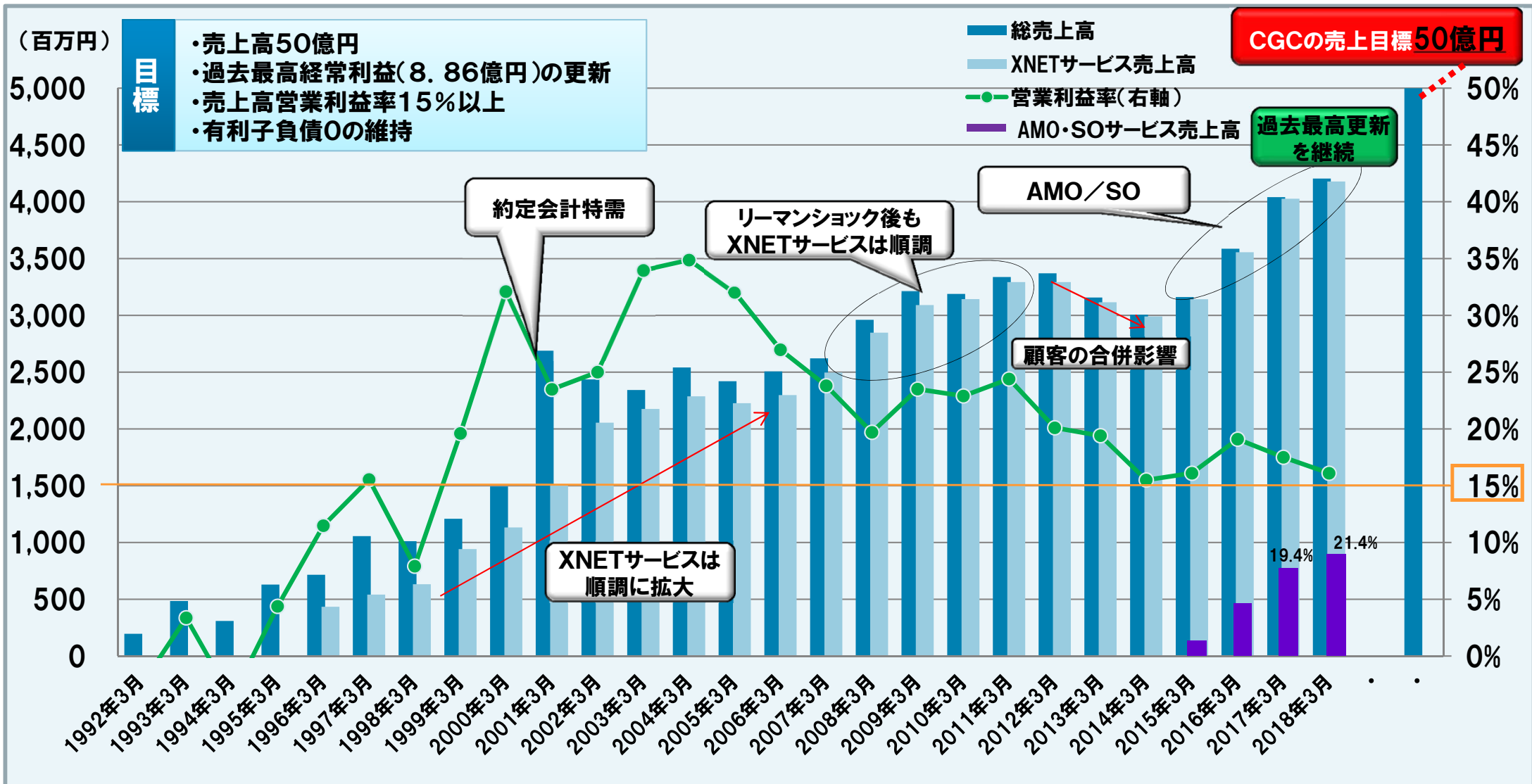
償却前営業利益(EBITDA)は過去最高水準を更新中



※2018年3月時点における投資実績・予定による償却額推移

創業以来の売上高推移

2014年3月期を底に、売上高は「新たな成長ステージ」へ



中期的経営戦略など



SOサービスの 位置付け

SOに対する目線

業務遂行の本質

当社

『システム利用料』
からの転換
↓
Operationという
『機能の提供』

事務コストを下げて
日本の資産運用業界の
競争力を向上
↓
最終的に投資家へ貢献

業務の**プロ**により、
最小の業務定義書で
最良・最善の成果提供
↓
運用会社の負荷最小
「変化」にも柔軟に対応

他社

BPOは自社システムの
維持のためのツール

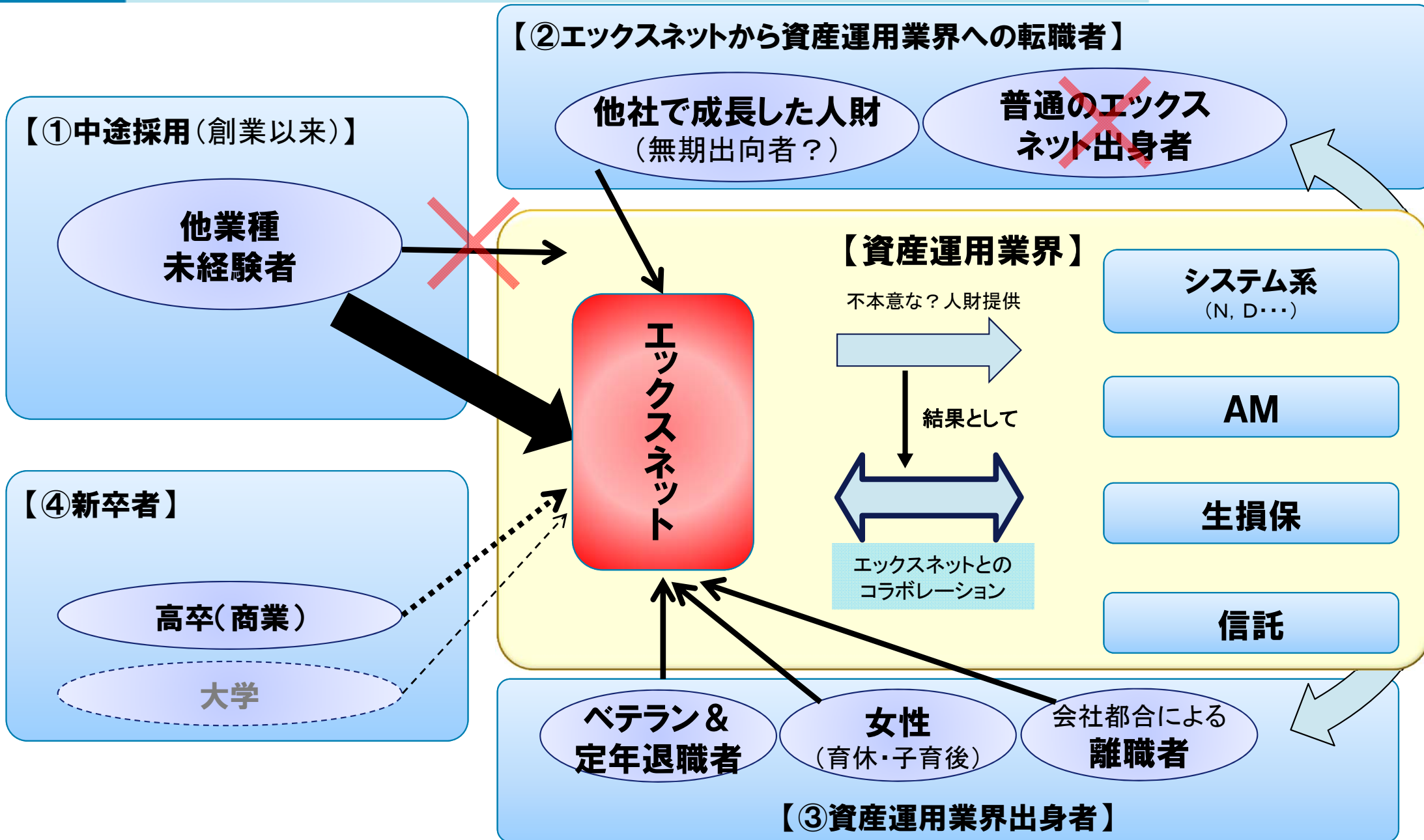
運用会社の業務も
文書化&オフショア化
↓
人件費の差額をシェア
(運用会社/受任会社)

膨大な業務定義書を元
に機械的な事務の提供
(定義外は逐次確認)
↓
運用会社の残留負荷大

XNETの成長戦略(新たな挑戦)



XNETの人財確保(採用)戦略



Outsourcing Expert **XNET**